

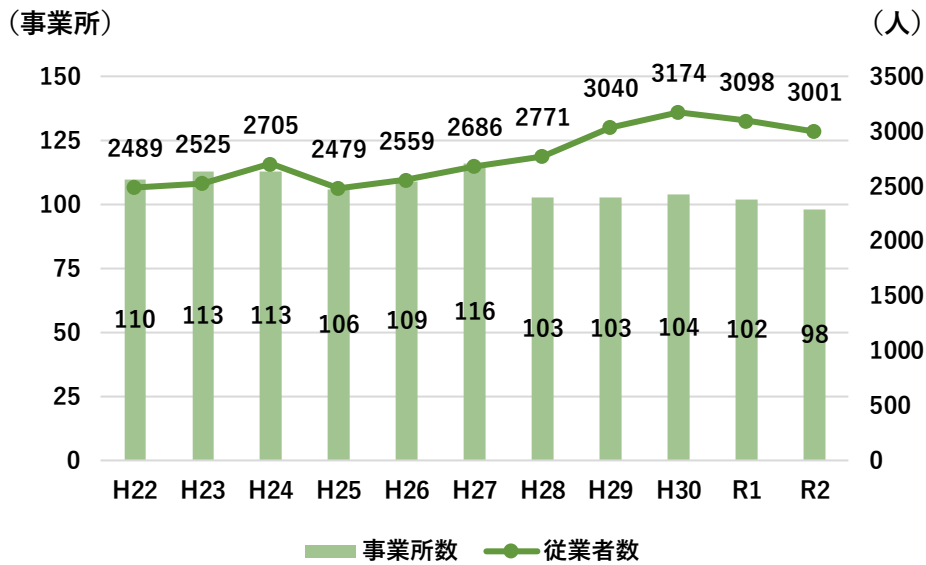
生駒市商工観光ビジョン 資料編(案)

令和5（2023）年9月

生駒市

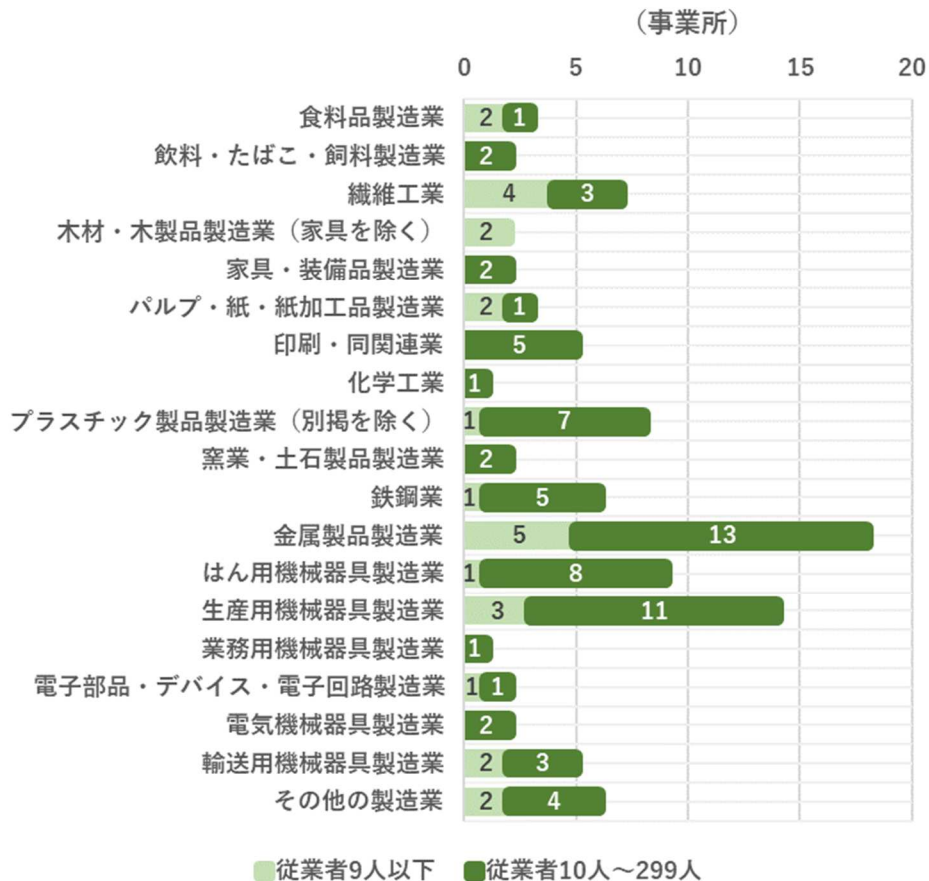
工業(製造業)

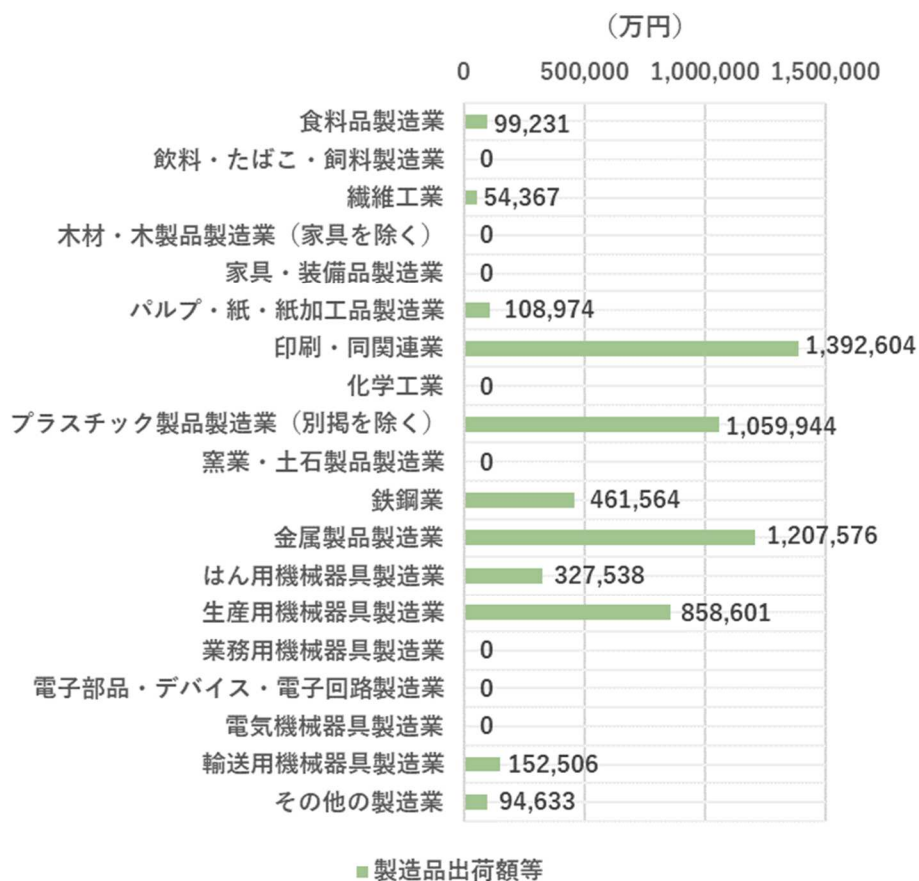
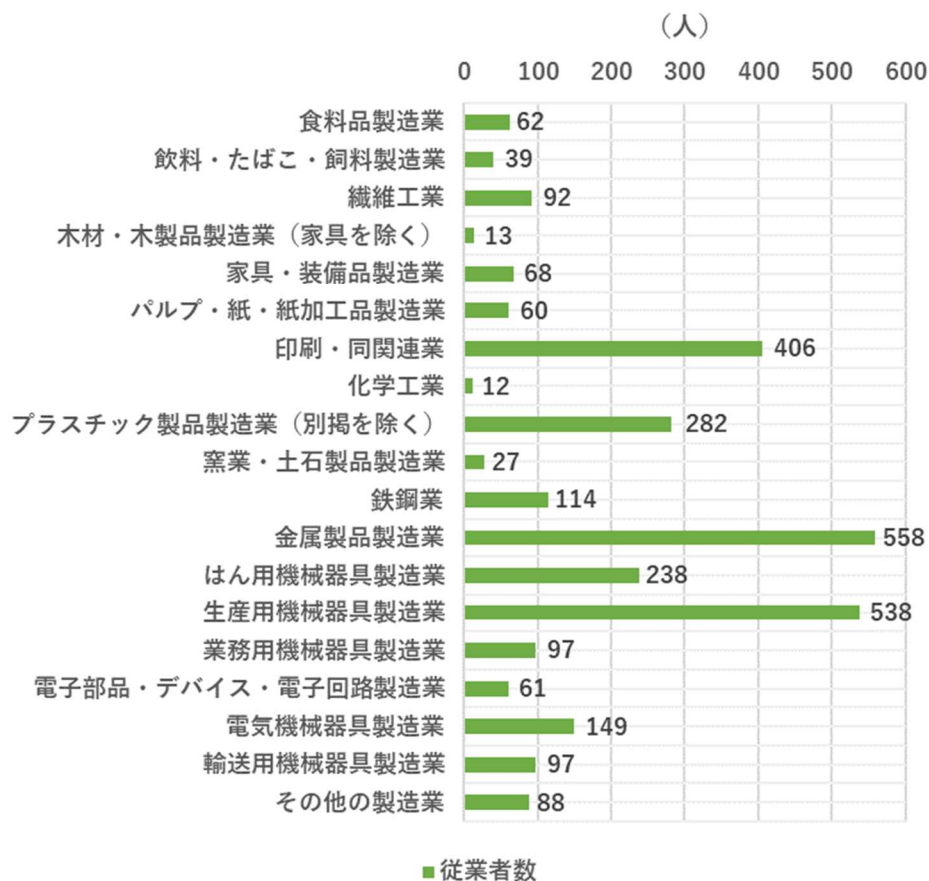
■製造－図表1 製造業の事業所数と従業者数の推移

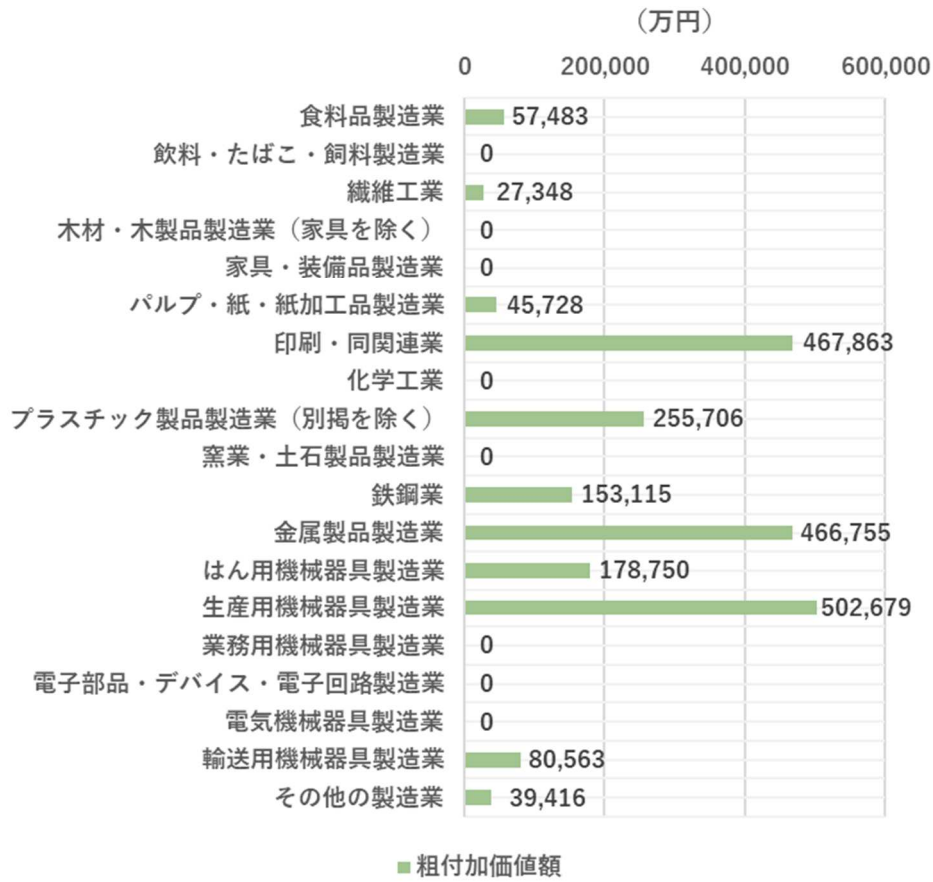


出典:総務省「令和3年 経済センサス活動調査」

■製造－図表2 生駒市の製造業の実態(令和3年)





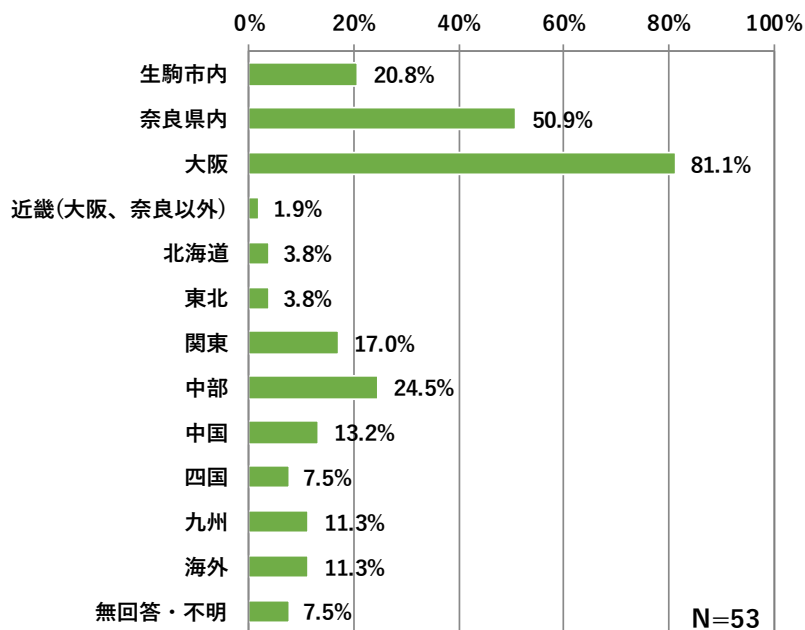


注) 従業者4人以上の事業所。

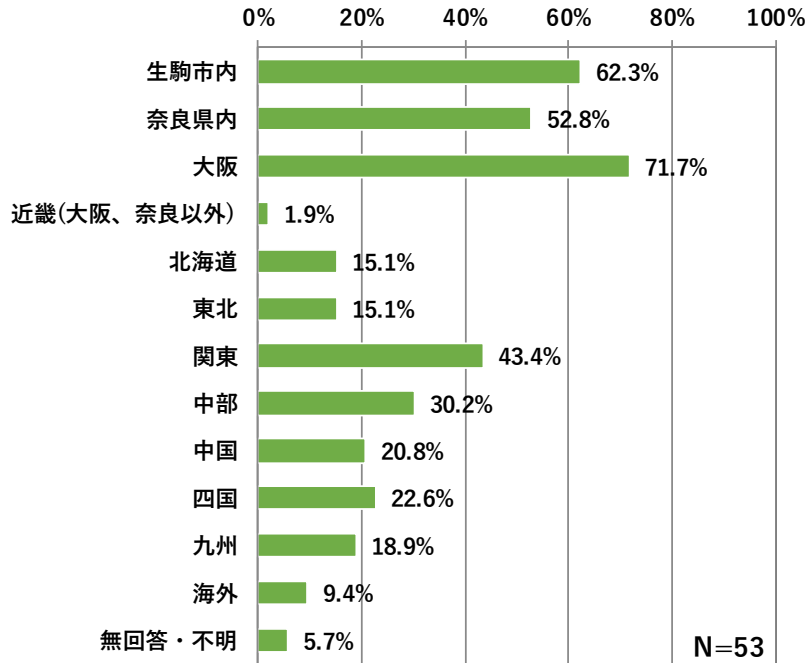
出典: 総務省「令和3年 経済センサス活動調査」

■ 製造—図表3 調達先と販売先

【調達先がある地域】



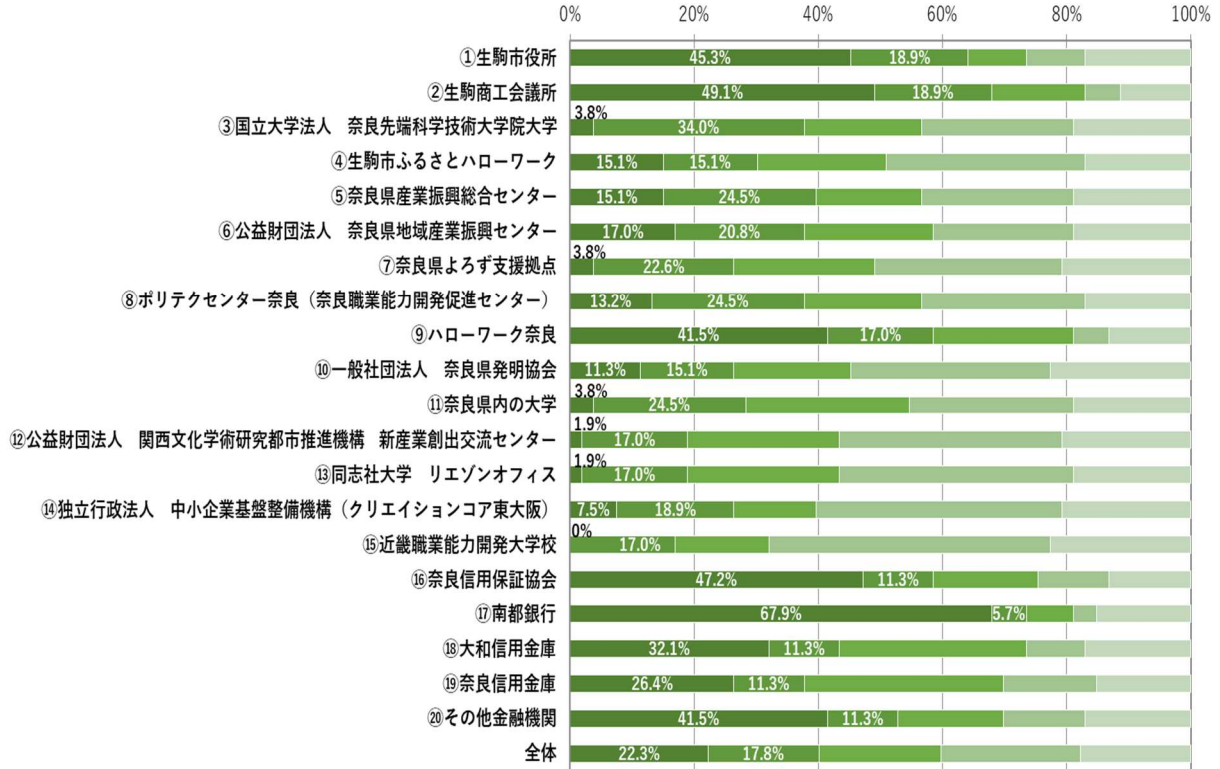
【販売先がある地域】



注)複数回答。

出典:生駒市「事業者アンケート調査結果(令和4年度)」

■製造—図表4 公的支援機関等の活用実績、活用意向



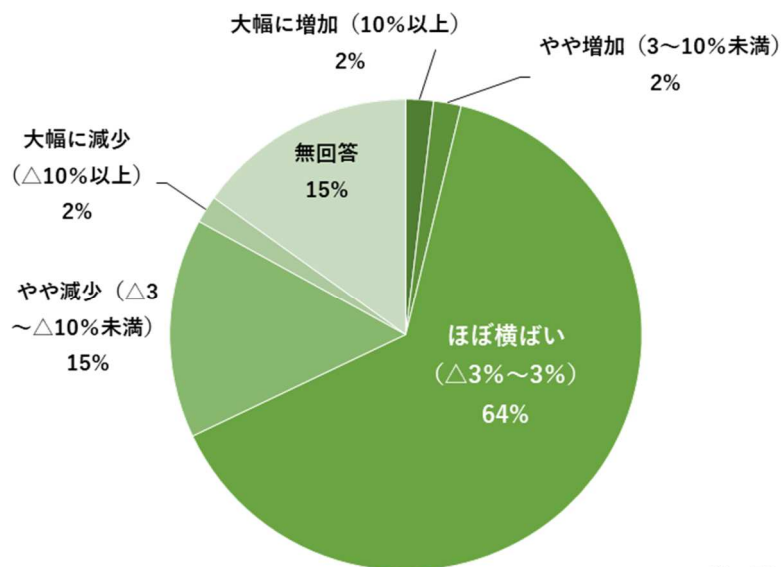
N=53

■利用・連携したことがある ■利用したことはないが、関心がある ■利用したことはないし、関心もない ■知らない ■無回答・不明

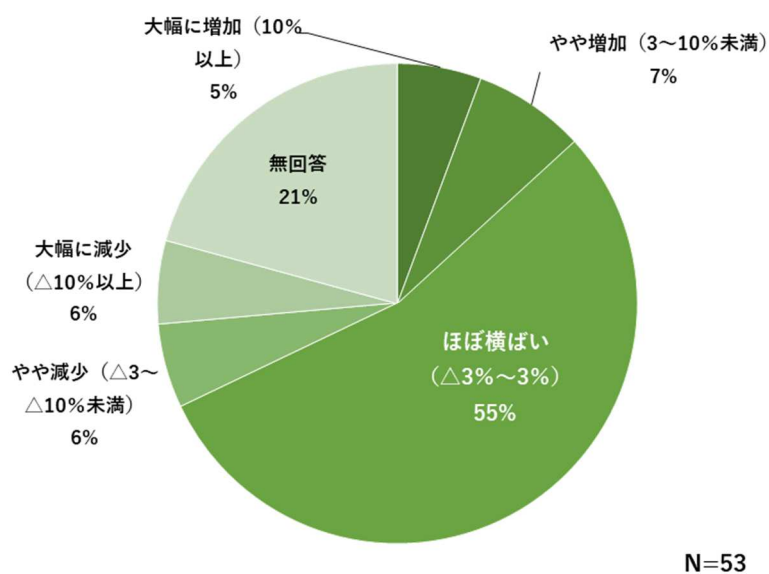
出典:生駒市「事業者アンケート調査結果(令和4年度)」

■製造—図表5 直近3年間の従業員数の増減

【正社員】



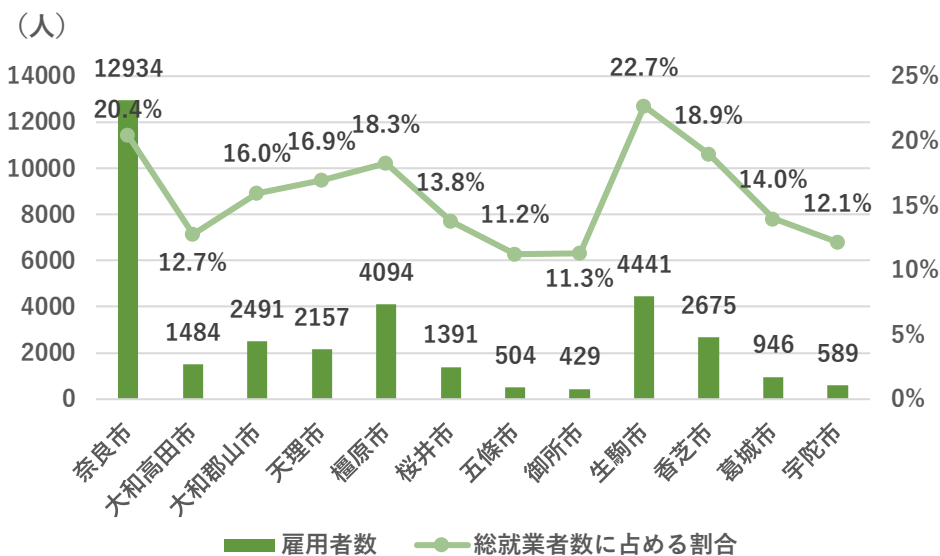
【臨時・契約・派遣・パート社員等】



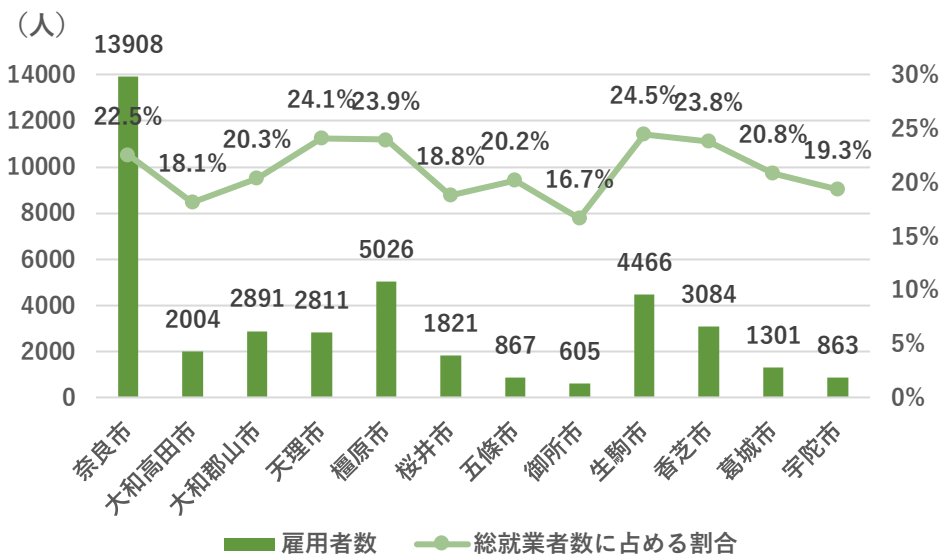
出典:生駒市「事業者アンケート調査結果(令和4年度)」

■製造—図表6 専門的・技術的職業に就いている市民(令和2年)

【男】



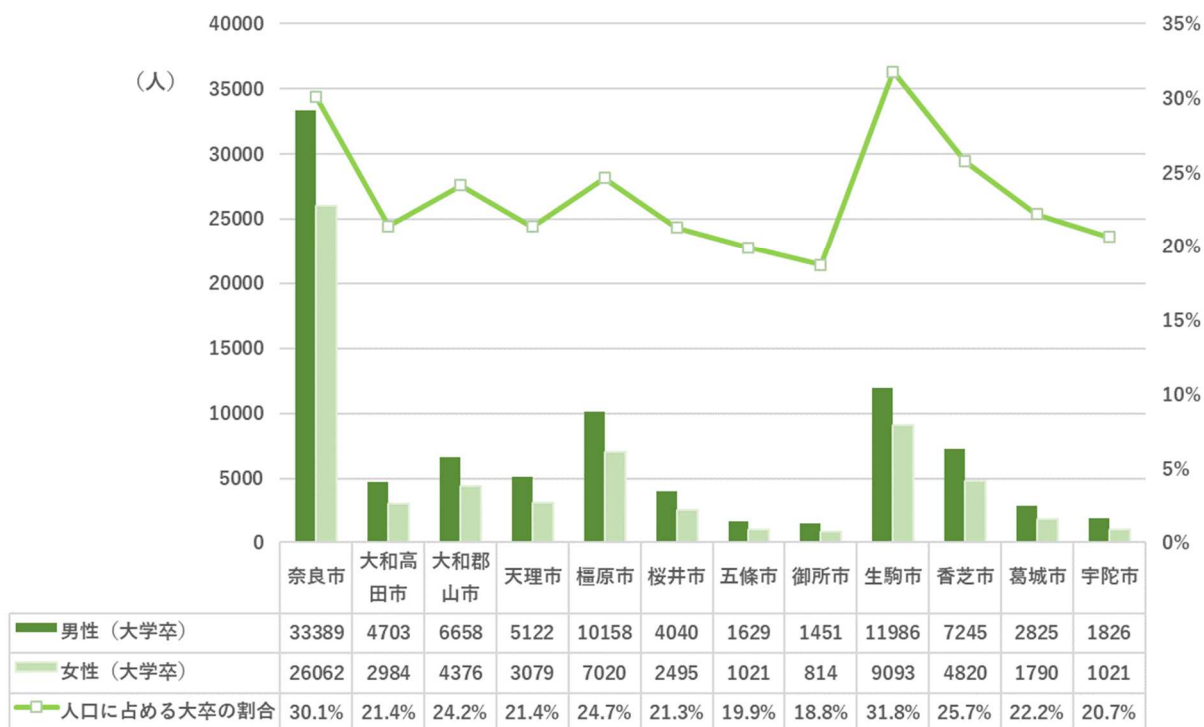
【女】



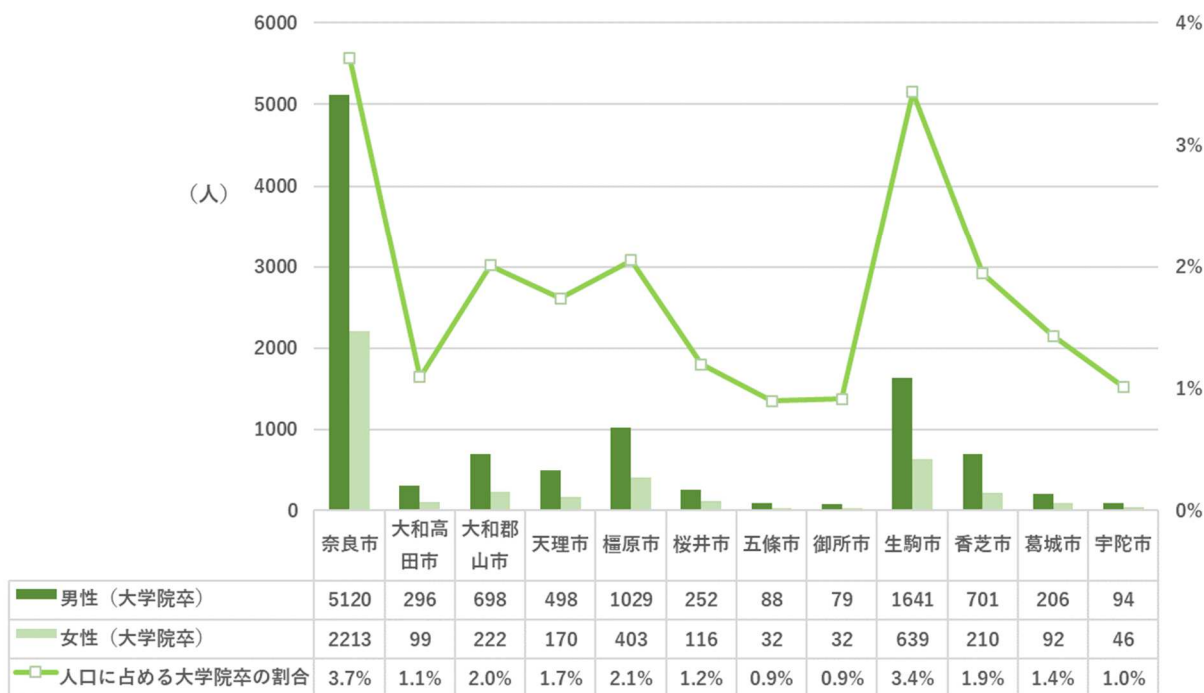
出典:総務省「令和2年 国勢調査」

■製造－図表7 大学卒・大学院卒の市民(令和2年)

【大学卒】

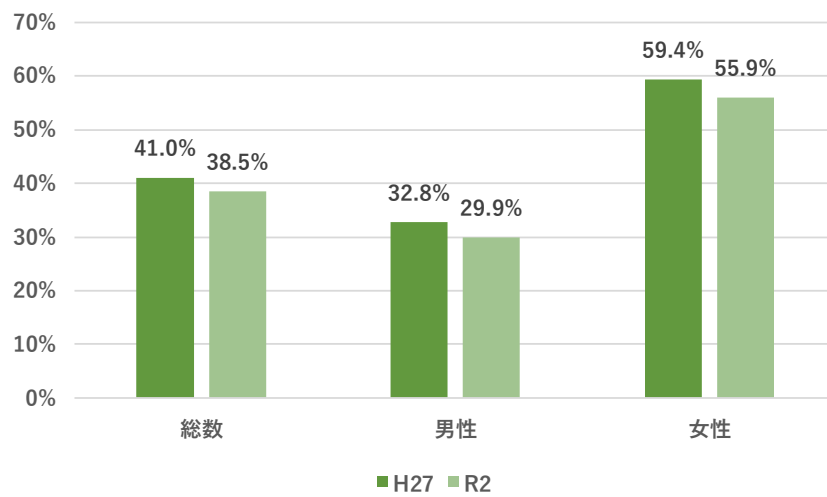


【大学院卒】



出典：総務省「令和2年 国勢調査」

■製造—図表8 製造業における本市在住者の雇用割合

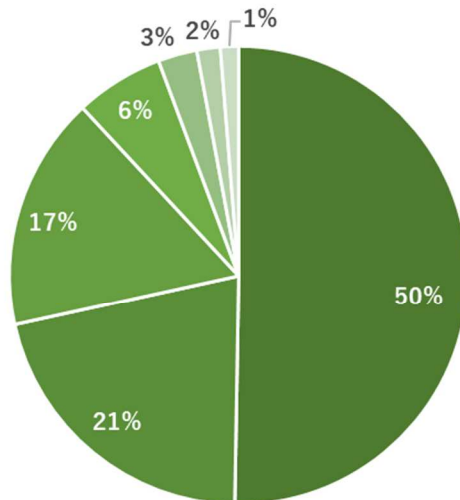


出典：総務省「令和2年 国勢調査」

商業(小売業・飲食業等)

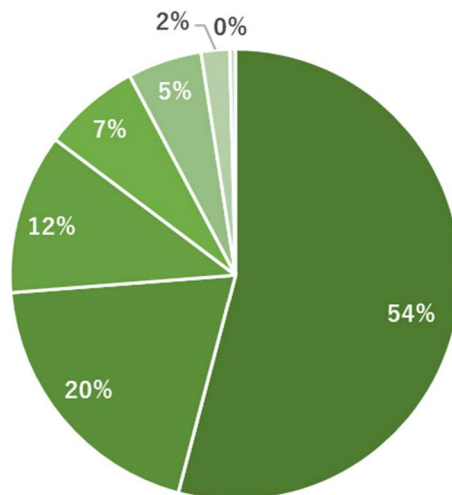
■商業－図表1 従業者規模別の事業所割合(令和3年)

【小売業】



■ 1～4人 ■ 5～9人 ■ 10～19人 ■ 20～29人 ■ 30～49人 ■ 50～99人 ■ 100人以上

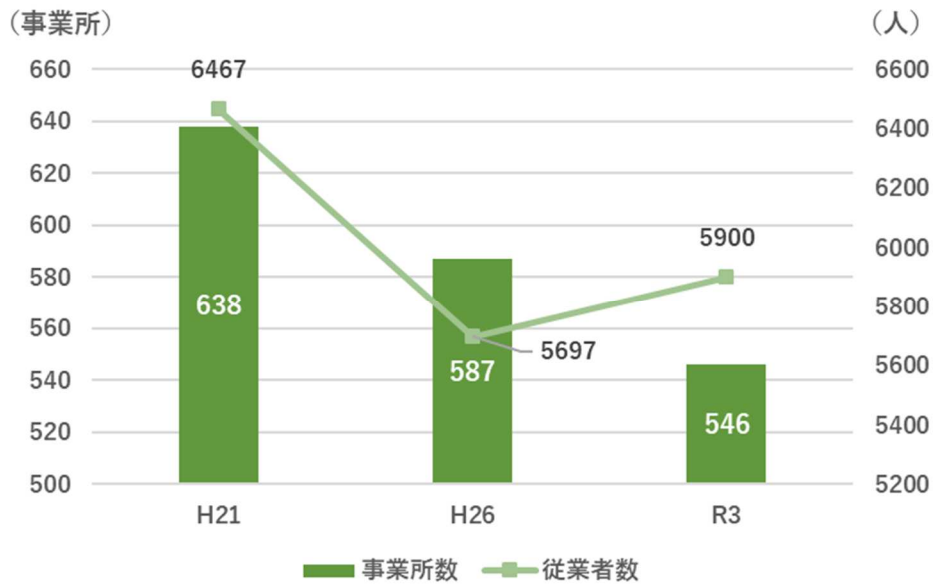
【飲食店】



■ 1～4人 ■ 5～9人 ■ 10～19人 ■ 20～29人 ■ 30～49人 ■ 50～99人 ■ 100人以上

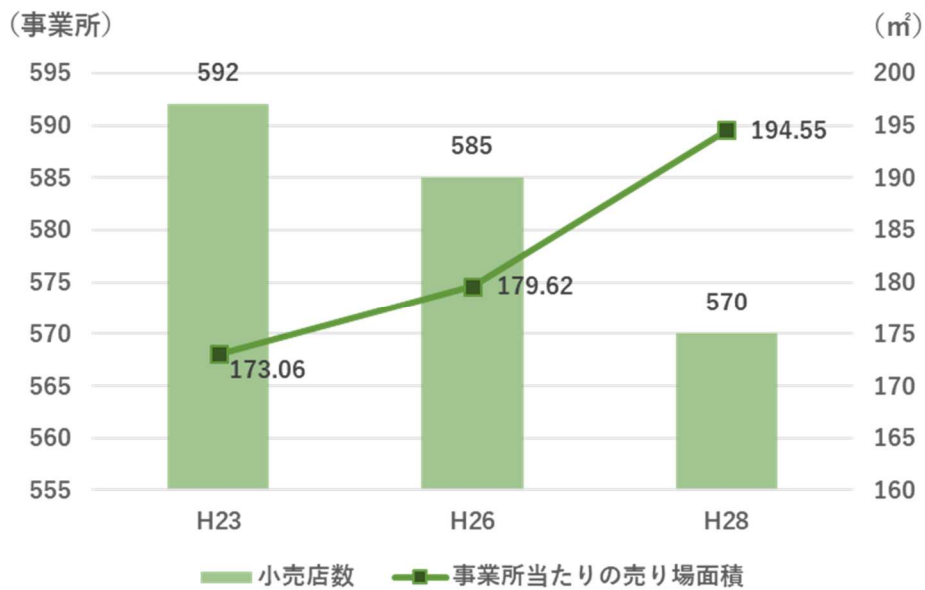
出典:総務省「令和3年 経済センサス活動調査」

■商業－図表2 小売業の事業所数と従業者数の推移



出典：総務省「令和3年 経済センサス活動調査」

■商業－図表3 小売業の事業所数と売り場面積の推移



出典：総務省「令和3年 経済センサス活動調査」

■商業－図表4 商品の購入(サービスの利用)場所

【一番多い購入先(択一)】

	個人商店	コンビニ・ドラッグストア	スーパーマーケット	ディスカウントストア	百貨店	大型ショッピングセンター	家電量販店・ホームセンター	宅配サービス	ネットショッピング	無回答・不明
A 生鮮食料品(野菜など)	2.7	1.0	85.1	2.0	2.0	3.2	0.0	3.2	0.2	0.5
B 生鮮食料品(肉・魚など)	0.7	0.7	84.4	1.5	4.2	3.5	0.0	3.5	0.7	0.7
C その他食品(調味料他)	1.0	2.2	81.6	4.5	1.5	4.0	0.0	3.5	0.7	1.0
D お酒、その他嗜好品	3.2	8.9	62.3	12.9	1.5	4.2	0.7	1.2	3.0	2.0
E 日用雑貨	0.2	21.6	25.8	10.4	4.2	16.4	10.4	0.7	8.9	1.2
F 理容・美容院	61.0	6.5	7.2	2.7	2.2	4.2	1.5	0.5	7.9	6.2
G 洋服・衣料品	4.2	0.2	2.5	5.2	8.9	54.3	0.7	0.2	22.3	1.2
H 書籍・文房具	8.7	1.2	6.5	5.7	11.9	36.0	3.5	0.2	24.6	1.7
I 趣味・娯楽関連用品	5.0	0.5	1.7	1.7	4.7	27.0	6.2	0.5	48.4	4.2
J 家電などの耐久消費財	2.0	0.0	1.0	1.0	0.0	4.0	72.0	0.5	17.1	2.5
K インテリア関連用品	2.2	0.0	1.0	2.5	3.5	32.5	27.0	0.5	26.3	4.5
L 習い事・教室・塾など	46.7	0.2	0.5	0.5	1.7	8.9	1.2	0.5	10.9	28.8
M 外食サービス	38.0	1.5	3.7	1.2	4.2	35.7	0.7	2.5	2.7	9.7
全体	13.5	3.4	27.9	4.0	3.9	18.0	9.5	1.4	13.4	4.9

(単位：%)

【一番多い購入場所(択一)】

	生駒市内	生駒市以外の奈良県内	大阪府	奈良県・大阪府以外の近畿圏	近畿圏外	その他(インターネットなど)	無回答・不明
A 生鮮食料品(野菜など)	88.6	7.4	0.5	0.7	0.0	1.5	1.2
B 生鮮食料品(肉・魚など)	86.4	8.9	0.2	0.5	0.0	2.2	1.7
C その他食品(調味料他)	84.9	9.7	0.7	0.5	0.0	2.5	1.7
D お酒、その他嗜好品	79.2	9.2	1.5	2.2	0.0	5.0	3.0
E 日用雑貨	71.2	10.9	3.5	2.5	0.0	9.4	2.5
F 理容・美容院	63.3	13.9	10.4	3.0	0.0	5.7	3.7
G 洋服・衣料品	29.5	24.3	19.1	3.0	0.2	21.1	2.7
H 書籍・文房具	49.4	13.4	10.7	0.5	0.0	22.8	3.2
I 趣味・娯楽関連用品	23.8	14.6	15.9	2.2	0.2	37.7	5.5
J 家電などの耐久消費財	49.9	19.9	8.7	1.5	0.5	16.1	3.5
K インテリア関連用品	23.3	27.3	19.4	1.7	0.5	22.6	5.2
L 習い事・教室・塾など	51.6	7.9	7.4	0.7	0.7	8.2	23.3
M 外食サービス	55.1	21.8	12.2	1.2	0.2	2.5	6.9
全体	58.2	14.6	8.5	1.6	0.2	12.1	4.9

(単位：%)

出典：生駒市「市民アンケート調査結果(令和4年度)」

■商業－図表5 大阪までの所要時間

	車			公共交通機関+徒歩		
	時間(分)	料金(円)	時間+料金(円)	時間(分)	料金(円)	時間+料金(円)
奈良市	38	2,030	2,663	71	1,710	2,893
大和高田市	52	3,100	3,967	61	870	1,887
大和郡山市	41	2,030	2,713	72	1,490	2,690
天理市	50	2,920	3,753	97	1,830	3,447
橿原市	54	3,100	4,000	63	950	2,000
桜井市	67	3,100	4,217	75	1,020	2,270
五條市	71	3,100	4,283	103	1,900	3,617
御所市	56	3,100	4,033	80	1,600	2,933
生駒市	33	1,800	2,350	49	740	1,557
香芝市	40	2,500	3,167	72	780	1,980
葛城市	47	2,500	3,283	74	920	2,153
宇陀市	77	2,920	4,203	76	2,110	3,377

注)令和5年7月27日9時に各市の市役所から大阪市役所に移動した場合の所要時間の中で、最も所要時間の短い経路を選択。葛城市は葛城市役所當麻庁舎からの距離。

出典:株式会社ナビタイムジャパン「NAVITIME」

観光

■観光－図表1 観光地来訪者数(単位:人)

	宝山寺		生駒山麓公園		高山竹林園	
	来訪者数	指数	来訪者数	指数	来訪者数	指数
H25	1,041,000	100.0	299,783	100.0	39,662	100.0
H26	1,030,000	98.9	291,336	97.2	47,575	120.0
H27	1,020,000	98.0	264,815	88.3	44,969	113.4
H28	1,045,000	100.4	243,310	81.2	30,916	77.9
H29	988,000	94.9	287,988	96.1	24,479	61.7
H30	952,000	91.5	232,398	77.5	26,739	67.4
R1	933,000	89.6	234,333	78.2	27,576	69.5
R2	869,000	83.5	168,954	56.4	21,167	53.4
R3	768,000	73.8	185,830	62.0	24,959	62.9

生駒市調べ

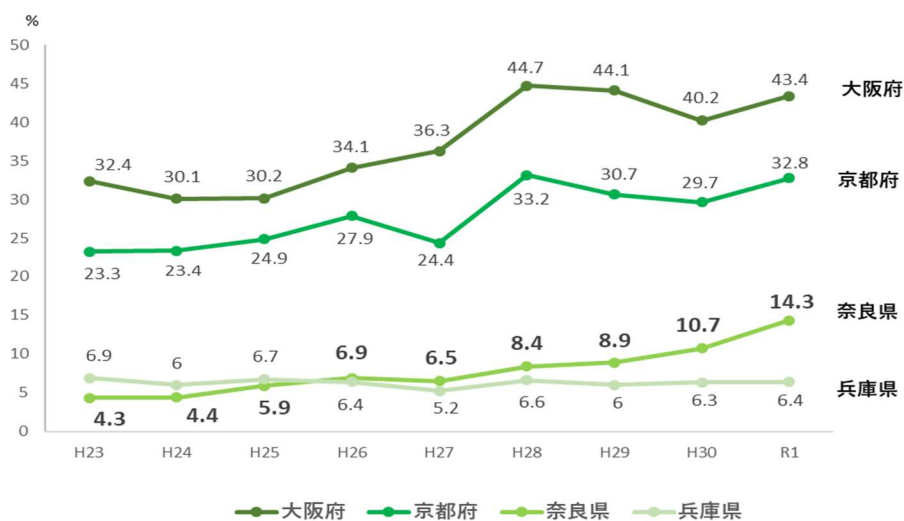
■観光－図表2 観光地までの所要時間

から	へ	から	へ	
JR大阪駅	41分	生駒	生駒山上遊園地	38分
神戸三宮(阪神)	67分		宝山寺	10分
JR京都駅	46分		くろんど池キャンプ場	74分
近鉄奈良	16分		高山竹林園	51分
			往馬大社(生駒神社)	25分(徒歩)
			生駒市総合公園	25分

注)平日午前10時発の所要時間。鉄道他(乗車+徒歩時間)。

出典:Yahoo「乗換案内」

■観光－図表3 訪日外国人の訪問率の推移

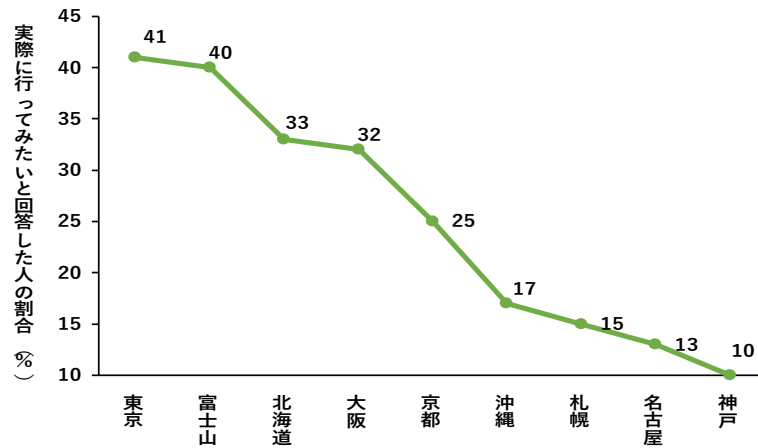


注)平成23年は4月~12月。他は1月~12月。

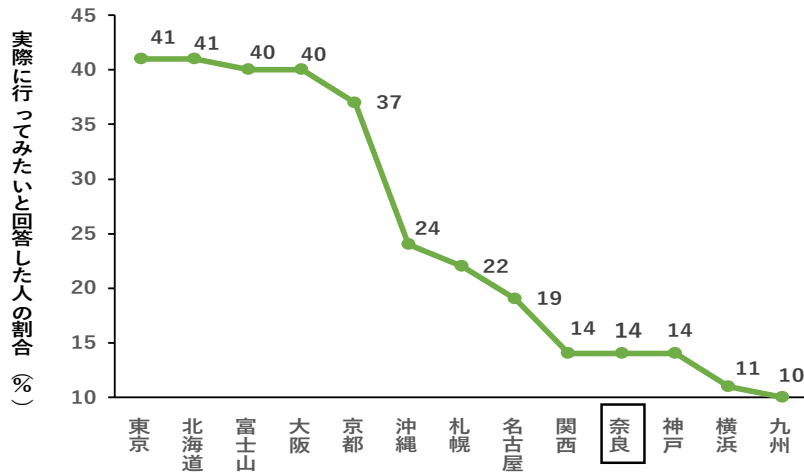
出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

■観光－図表4 実際に行ってみたいと回答した人の割合(令和元年)

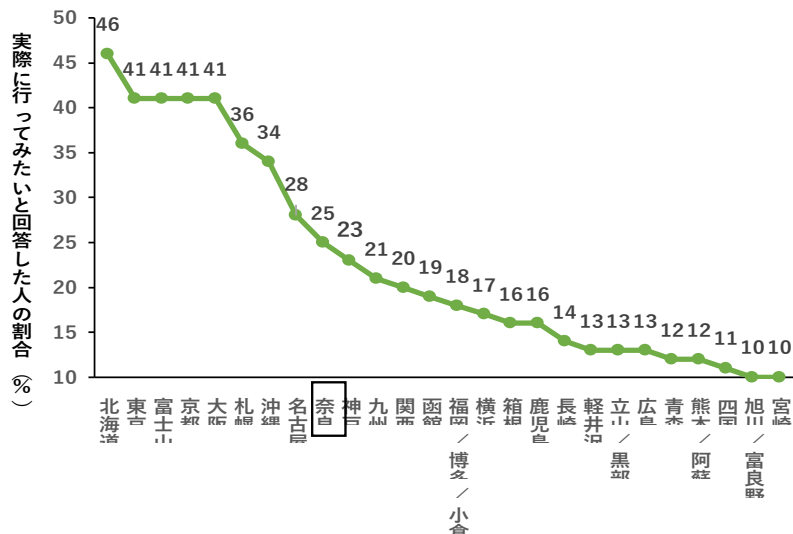
【訪日経験なし】



【訪日経験1回】

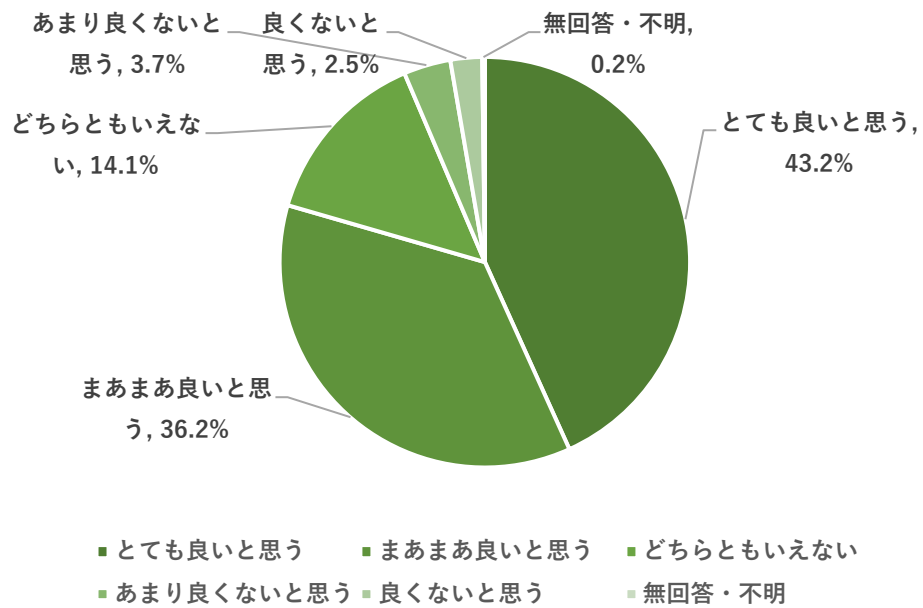


【訪日経験2回以上】



出典:DBJ・JTBF「アジア・欧米豪」訪日外国人旅行者の意向調査(令和元年度)

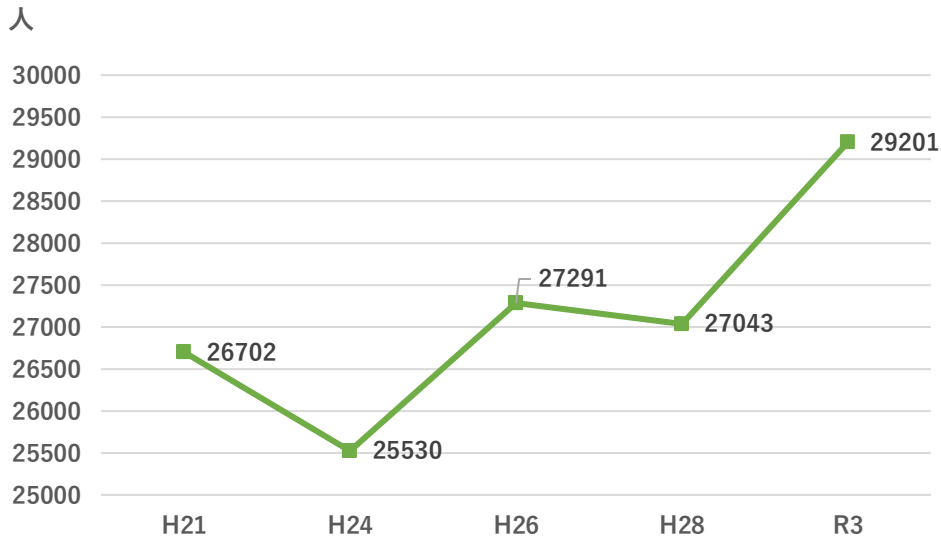
■観光—図表5 生駒市の観光地への観光客増加について



出典:生駒市「市民アンケート調査結果(令和4年度)」

雇用・就労

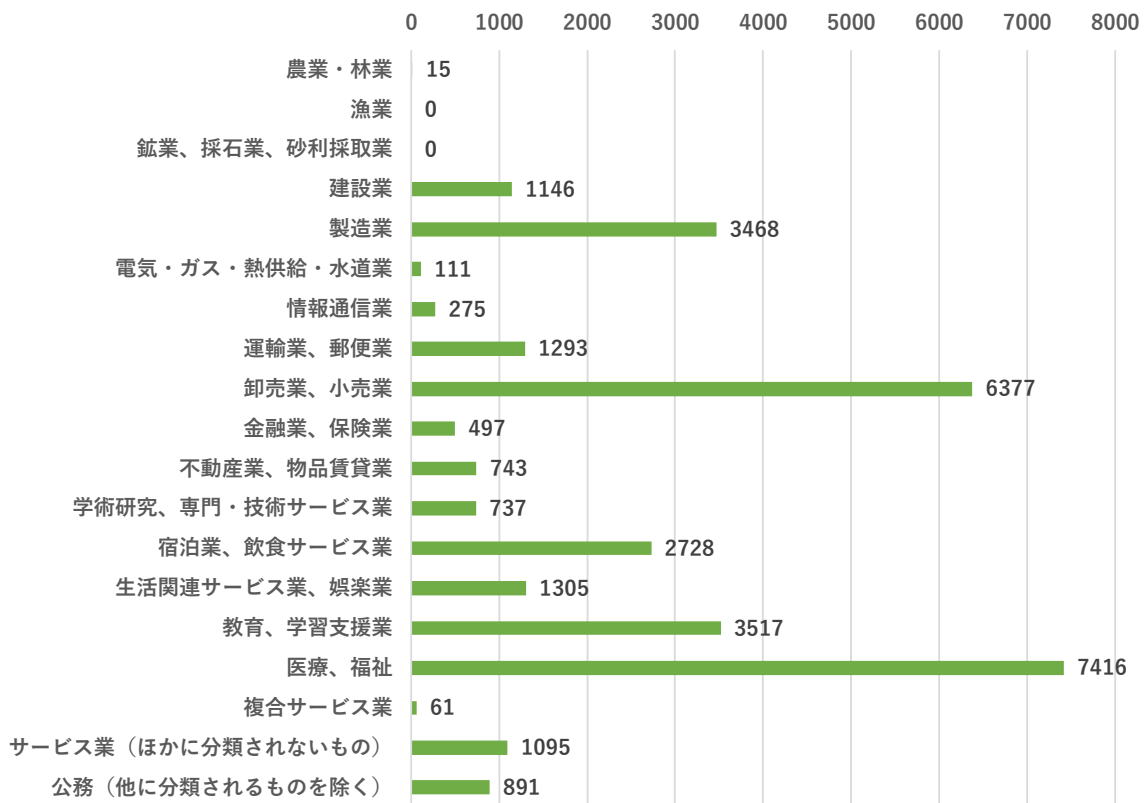
■雇用－図表1 従業者数の推移



注)全産業(公務を除く)の事業所のうち民営の数。

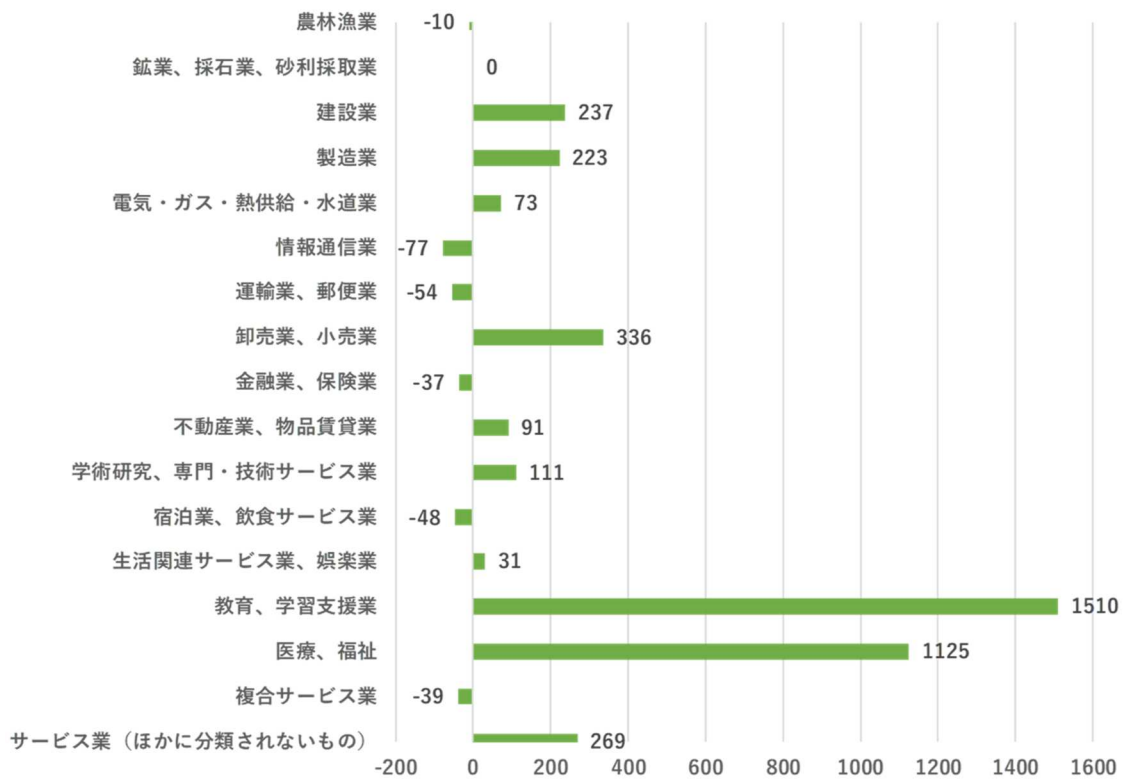
出典:総務省「令和3年 経済センサス活動調査」

■雇用－図表2 産業分類別の従業者数(令和3年)



出典:総務省「令和3年 経済センサス活動調査」

■雇用－図表3 産業分類別の従業者数の増減(平成28年～令和3年)



出典:総務省「令和3年 経済センサス活動調査」

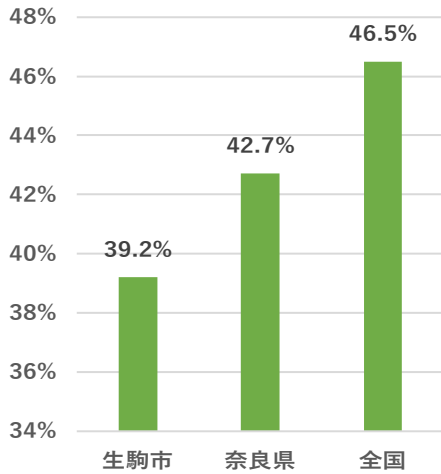
■雇用－図表4 生駒市の市内就業率と他自治体との比較(令和2年)

	生駒市			奈良市	大和郡山市	京田辺市	東大阪市
	総数	男性	女性	総数	総数	総数	総数
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市内で就業	30.2%	21.6%	40.5%	51.6%	43.2%	36.3%	53.8%
市外で就業	68.4%	77.2%	58.0%	46.1%	53.9%	61.1%	41.7%
各市以外の府県内で就業	17.3%	14.9%	20.2%	13.6%	31.0%	33.9%	36.4%
自府県以外で就業	51.1%	62.2%	37.8%	32.4%	22.9%	27.2%	5.3%
その他・不詳	1.3%	1.2%	1.5%	2.3%	2.8%	2.6%	4.4%
大阪府内で就業	44.9%	54.4%	33.6%	23.3%	17.5%	20.6%	90.3%
大阪市内で就業	27.5%	33.0%	20.9%	15.6%	11.5%	10.6%	24.5%

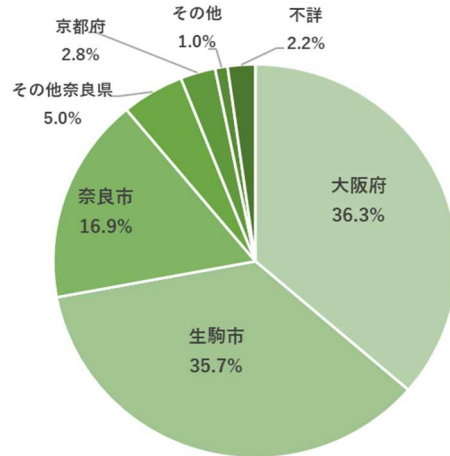
出典:総務省「令和2年 国勢調査」

■雇用－図表5 女性の就業率と従業地(令和2年)

【女性の就業率】

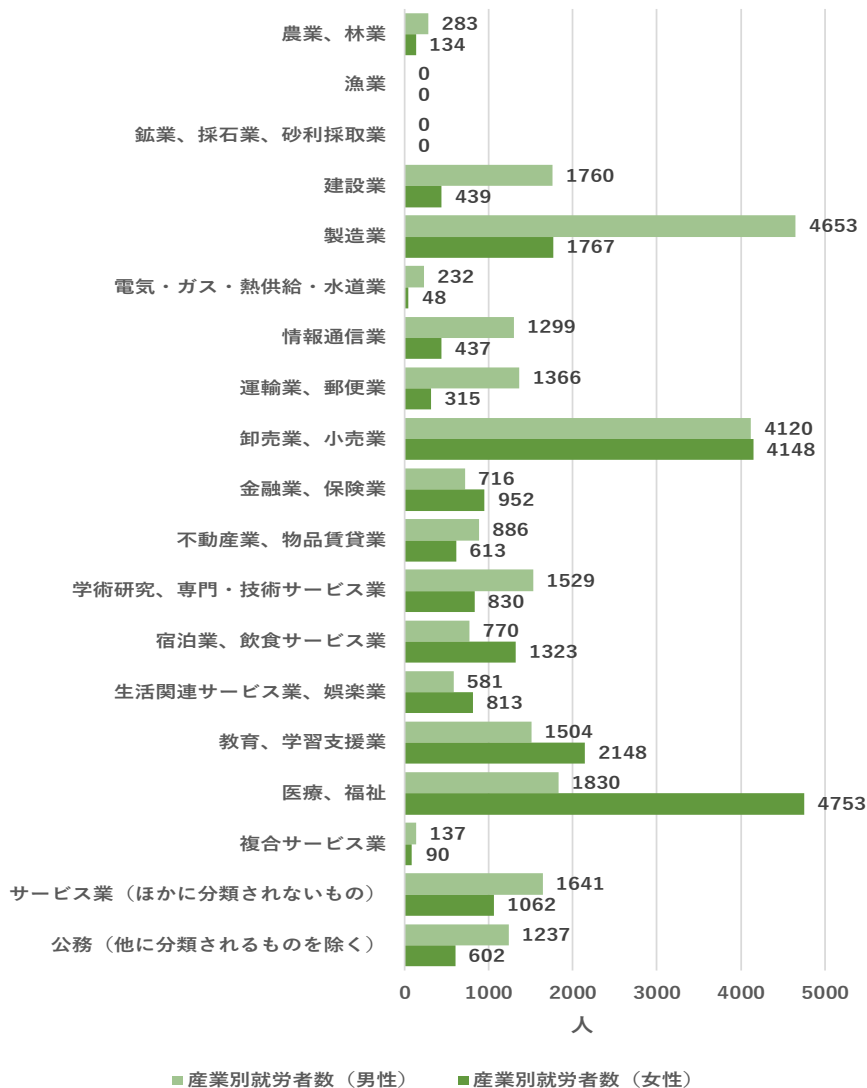


【生駒市常住者の従業地(通勤先):女性】



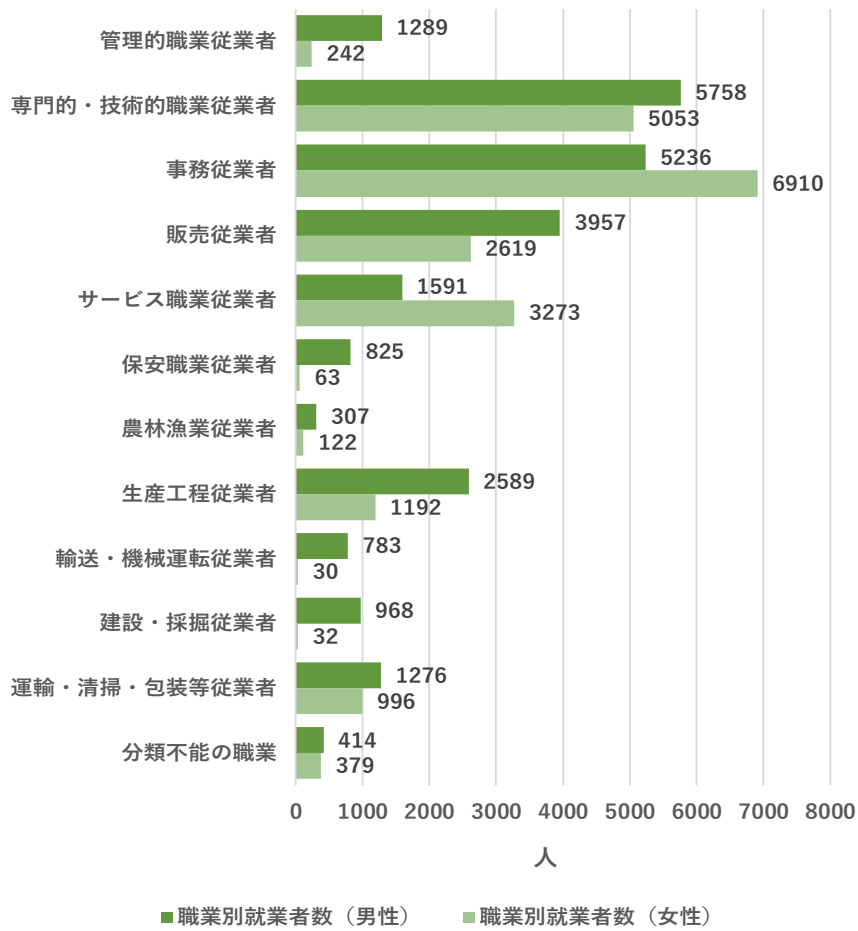
出典:総務省「令和2年 国勢調査」

■雇用－図表6 生駒市常住者の産業別就業者数(令和2年)



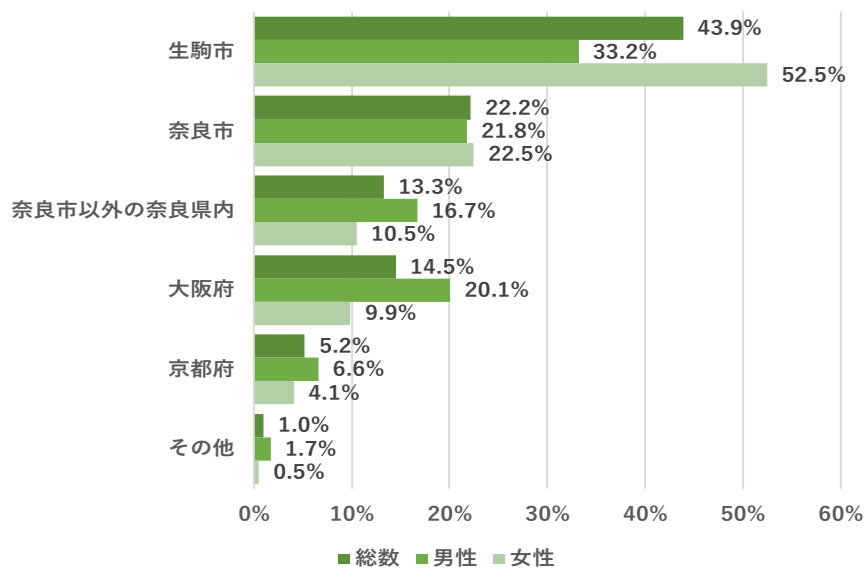
出典:総務省「令和2年 国勢調査」

■雇用－図表7 生駒市常住者の職業別就業者数(令和2年)



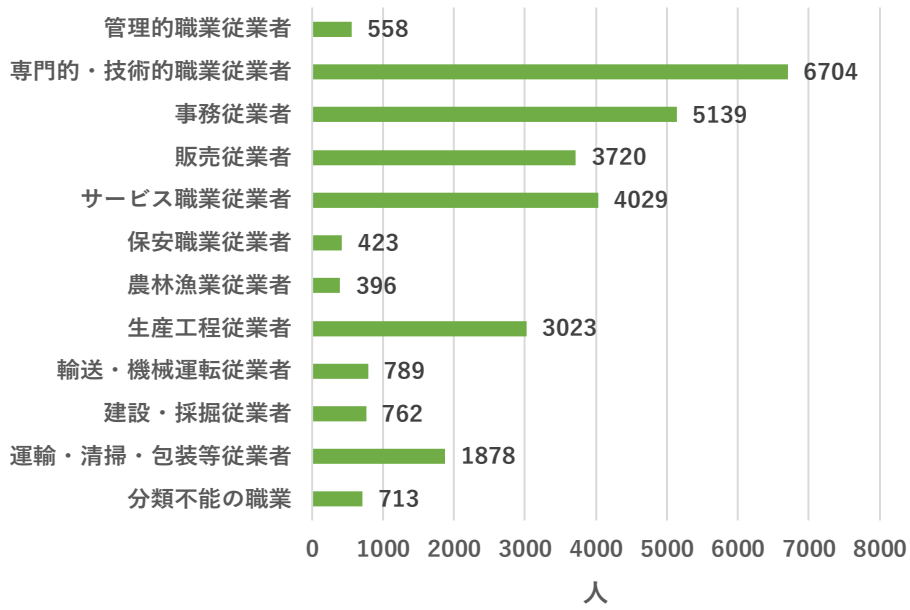
出典:総務省「令和2年 国勢調査」

■雇用－図表8 生駒市内従業者の常住地(令和2年)



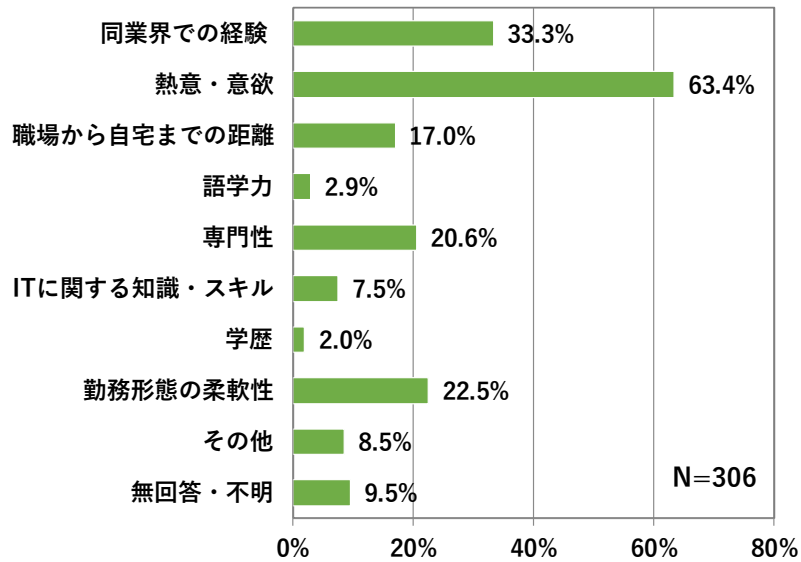
出典:総務省「令和2年 国勢調査」

■雇用－図表9 生駒市内従業者の職業別就業者数:総数(令和2年)



出典:総務省「令和2年 国勢調査」

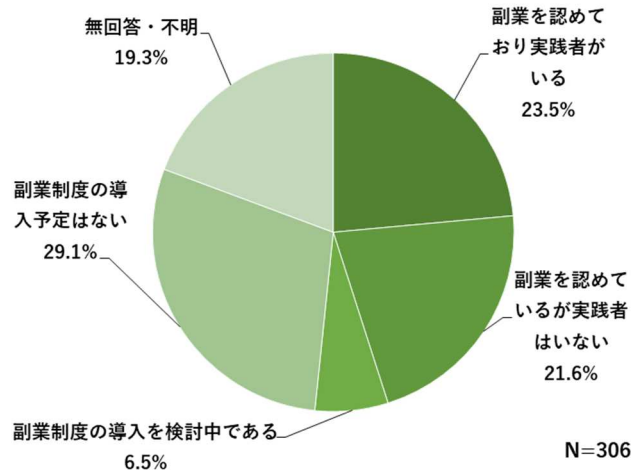
■雇用－図表10 従業員を雇用する際に重視する点



注)複数回答(3つまでに○)。

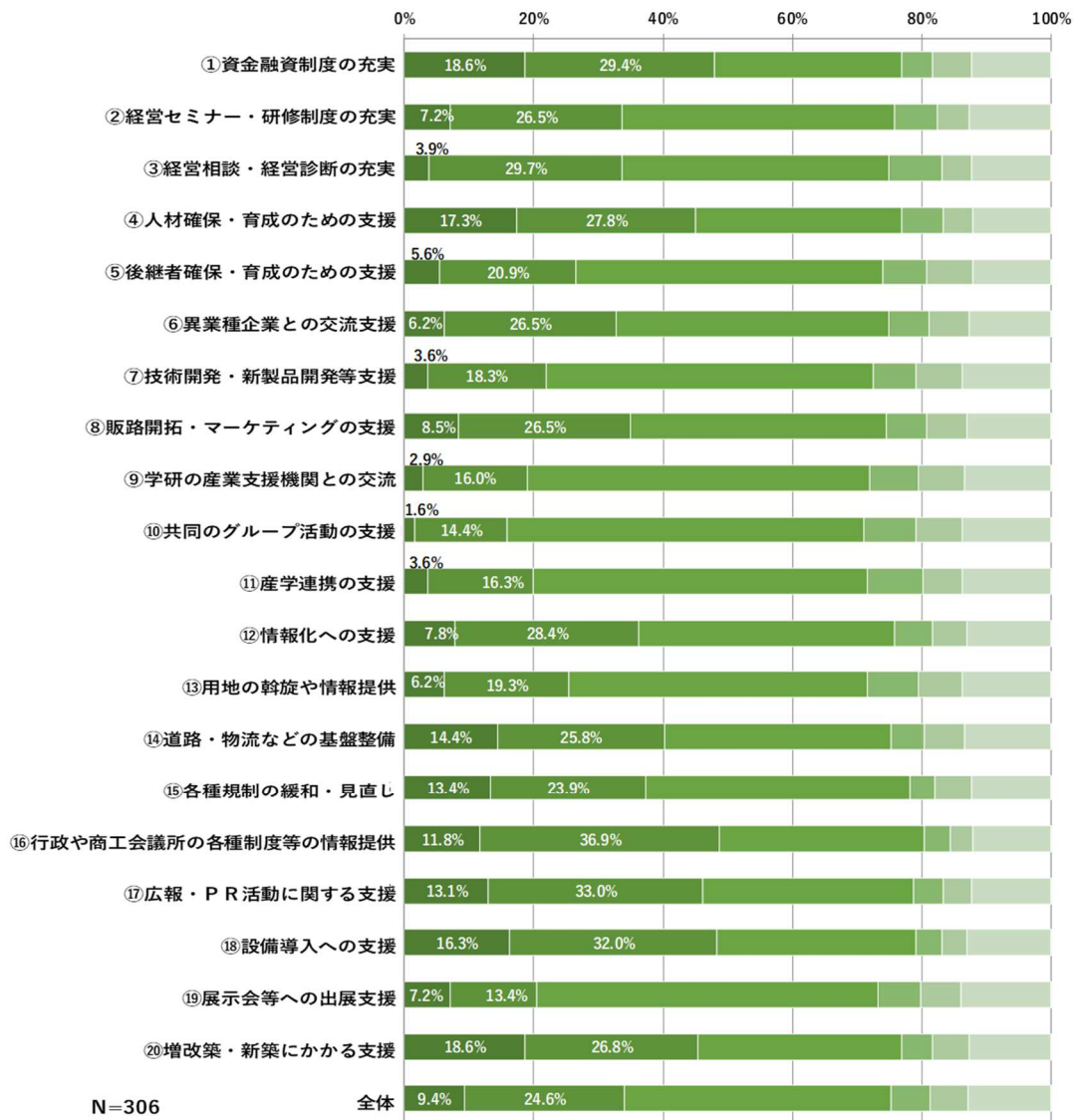
出典:生駒市「事業者アンケート調査結果(令和4年度)」

■雇用－図表11 社員の副業について



出典：生駒市「事業者アンケート調査結果(令和4年度)」

■雇用－図表12 商工業及び観光振興施策や支援策に期待すること



■ 強く期待する ■ 期待する ■ どちらでもない ■ あまり期待しない ■ 全く期待しない ■ 無回答・不明

出典：生駒市「事業者アンケート調査結果(令和4年度)」

■雇用－図表13 今後希望する働き方

回答数	全体		男性		女性	
	403	100.0%	179	100.0%	222	100.0%
今の勤務先で、現在の働き方を続けたい	198	49.1%	99	55.3%	98	44.1%
近い将来に転職したい	36	8.9%	13	7.3%	23	10.4%
近い将来に新たに起業したい	22	5.5%	13	7.3%	9	4.1%
ワークライフバランスを重視して仕事を減らしていきたい	49	12.2%	20	11.2%	29	13.1%
現在就労していないが、近い将来に就職したい	39	9.7%	5	2.8%	34	15.3%
現在就労していないが、このまま就労するつもりはない	27	6.7%	12	6.7%	15	6.8%
現在就労しているが、退職したい	11	2.7%	4	2.2%	7	3.2%
その他	11	2.7%	7	3.9%	3	1.4%
無回答・不明	10	2.5%	6	3.4%	4	1.8%

出典：生駒市「市民アンケート調査結果(令和4年度)」

■雇用－図表14 これからの働き方を考える際に重視する条件

回答数（複数回答）	全体		男性		女性	
	403	245.2%	179	243.0%	222	247.3%
給与・収入の高さ	239	59.3%	114	63.7%	124	55.9%
職種	77	19.1%	43	24.0%	34	15.3%
雇用形態	109	27.0%	31	17.3%	77	34.7%
勤務地の立地条件	125	31.0%	48	26.8%	77	34.7%
柔軟な勤務形態	177	43.9%	56	31.3%	121	54.5%
資格や経験を活かせること	75	18.6%	38	21.2%	37	16.7%
仕事のやりがい	161	40.0%	94	52.5%	66	29.7%
その他	4	1.0%	3	1.7%	1	0.5%
無回答・不明	21	5.2%	8	4.5%	12	5.4%

出典：生駒市「市民アンケート調査結果(令和4年度)」

■雇用－図表15 副業意向

回答数	全体		男性		女性	
	403	100.0%	179	100.0%	222	100.0%
既に副業をしている	32	7.9%	21	11.7%	11	0.5%
副業を具体的に検討している	20	5.0%	9	5.0%	11	0.5%
副業してみたいと思っている	163	40.4%	75	41.9%	87	39.2%
興味・関心はない	186	46.2%	74	41.3%	111	50.0%
無回答・不明	2	0.5%	0	0.0%	2	0.9%

出典：生駒市「市民アンケート調査結果(令和4年度)」

■雇用—図表16 副業の目的

回答数（複数回答）	215	265.6%
様々な分野の人とのつながりができるから	44	20.5%
本業では得ることが出来ない新しい知見やスキル、経験を得たいから	63	29.3%
副収入（趣味等に充てる資金）を得たいから	131	60.9%
副業で好きなことをやりたいから	57	26.5%
生活するには本業の収入だけでは不十分だから	52	24.2%
自分が活躍できる場を広げたいから	66	30.7%
時間のゆとりがあるから	21	9.8%
現在の職場で働き続けることができるか不安があるから	37	17.2%
現在の仕事での将来的な収入に不安があるから	50	23.3%
会社以外の場所でやりがいを見つけないから	43	20.0%
その他	1	0.5%
無回答・不明	6	2.8%

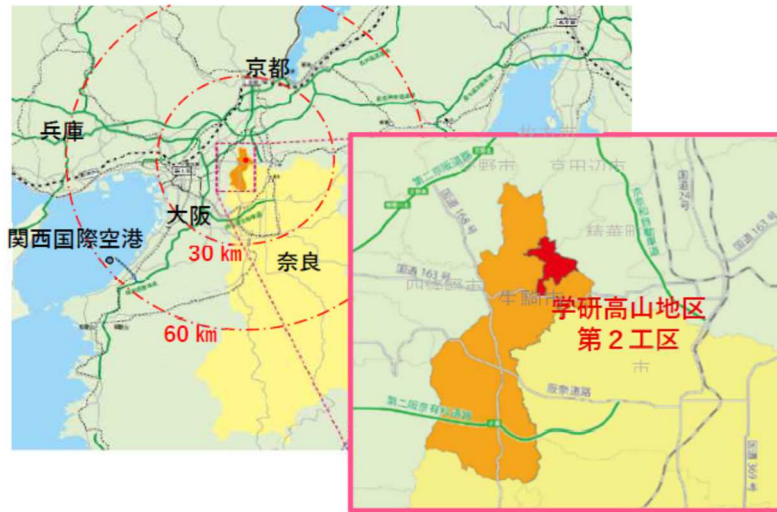
出典：生駒市「市民アンケート調査結果(令和4年度)」

注)調査結果は上の表のとおりであるが、商工観光ビジョン本編P26に記載の割合は以下の表の計算による。

収入面を 挙げた回答	副収入（趣味等に充てる資金）を得たいから	131	41%
	生活するには本業の収入だけでは不十分だから	52	
	現在の仕事での将来的な収入に不安があるから	50	
収入以外 の意義を 挙げた回答	様々な分野の人とのつながりができるから	44	48%
	本業では得ることが出来ない新しい知見やスキル、経験を得たいから	63	
	副業で好きなことをやりたいから	57	
	自分が活躍できる場を広げたいから	66	
	会社以外の場所でやりがいを見つけないから	43	
その他		65	11%
回答数合計		571	100%

立地

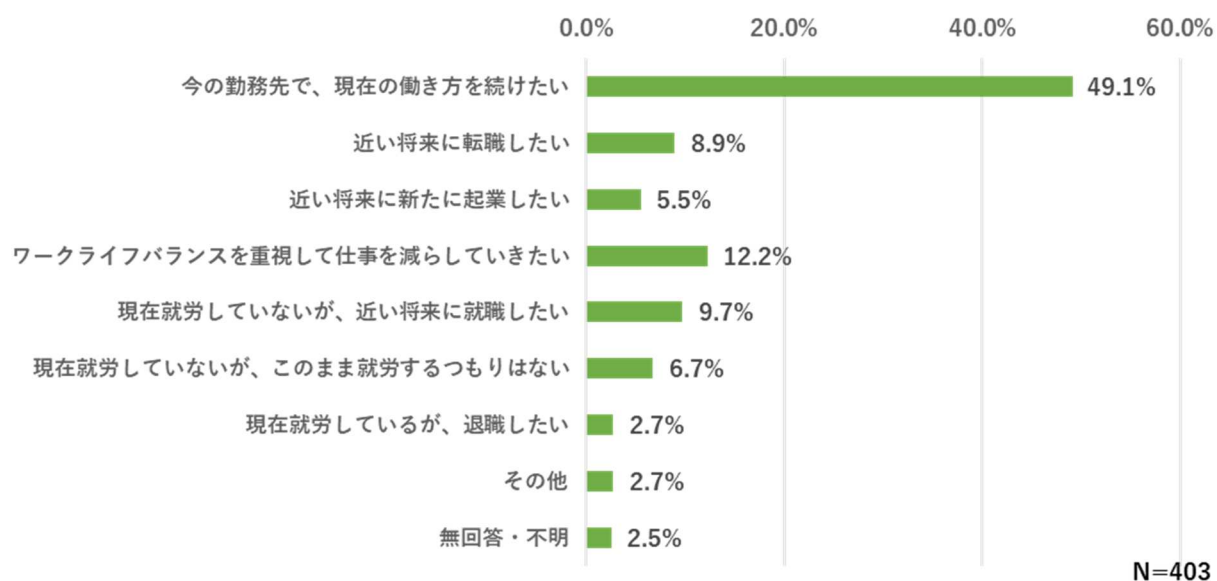
■立地－図表1 学研高山地区第2工区の位置図



出典：生駒市「学研高山地区第2工区マスタープラン」(令和4年6月)

起業

■起業－図表1 今後の働き方



出典：生駒市「市民アンケート調査結果(令和4年度)」

■起業－図表2 起業支援事業の参加者と事業化の状況

		経営塾			ILBH			総計				
		参加者	伴走支援	事業化	参加者	伴走支援	事業化	参加者	伴走支援	事業化	伴走支援	事業化
R2	新規創業	30	1	1				30	1	1	5	4
	第2創業		4	3					4	3		
R3	新規創業	37	2	2	18	3	1	55	5	3	11	8
	第2創業		4	3		2	2		6	5		
R4	新規創業	27	1	1	22	1	1	49	2	2	3	2
	第2創業		1	0		0	0		1	0		
合計	新規創業	94	4	4	40	4	2	134	8	6	19	14
	第2創業		9	6		2	2		11	8		

注)ILBH(IKOMA LOCAL BUSINESS HUB)事業の参加者には市外在住者を含む。

生駒市調べ

★関係法令

■中小企業基本法(平成 11 年(1999)年改正)

(基本理念)

第三条 中小企業については、多様な事業の分野において特色ある事業活動を行い、多様な就業の機会を提供し、個人がその能力を發揮しつつ事業を行う機会を提供することにより我が国の経済の基盤を形成しているものであり、特に、多数の中小企業者が創意工夫を生かして経営の向上を図るための事業活動を行うことを通じて、新たな産業を創出し、就業の機会を増大させ、市場における競争を促進し、地域における経済の活性化を促進する等我が国経済の活力の維持及び強化に果たすべき重要な使命を有するものであることにかんがみ、独立した中小企業者の自主的な努力が助長されることを旨とし、その経営の革新及び創業が促進され、その経営基盤が強化され、並びに経済的社会的環境の変化への適応が円滑化されることにより、その多様で活力ある成長発展が図られなければならない。

(地方公共団体の責務)

第六条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、中小企業に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(中小企業者の努力等)

第七条 中小企業者は、経済的社会的環境の変化に即応してその事業の成長発展を図るため、自主的にその経営及び取引条件の向上を図るよう努めなければならない。

2 中小企業者の事業の共同化のための組織その他の中小企業に関する団体は、その事業活動を行うに当たっては、中小企業者とともに、基本理念の実現に主体的に取り組むよう努めるものとする。

3 中小企業者以外の者であつて、その事業に関し中小企業と関係があるものは、国及び地方公共団体が行う中小企業に関する施策の実施について協力するようにしなければならない。

■小規模企業振興基本法(平成26(2014年)施行)

(基本原則)

第三条 小規模企業の振興は、人口構造の変化、国際化及び情報化の進展等の経済社会情勢の変化に伴い、国内の需要が多様化し、若しくは減少し、雇用や就業の形態が多様化し、又は地域の産業構造が変化する中で、顧客との信頼関係に基づく国内外の需要の開拓、創業等を通じた個人の能力の発揮又は自立的で個性豊かな地域社会の形成において小規模企業の活力が最大限に発揮されることの必要性が増大していることに鑑み、個人事業者をはじめ自己の知識及び技能を活用して多様な事業を創出する小企業者が多数を占める我が国の小規模企業について、多様な主体との連携及び協働を推進することによりその事業の持続的な発展が図られることを旨として、行われなければならない。

第四条 小規模企業の振興に当たっては、小企業者がその経営資源を有効に活用し、その活力の向上が図られ、その円滑かつ着実な事業の運営が確保されるよう考慮されなければならない。

(地方公共団体の責務)

第七条 地方公共団体は、基本原則にのっとり、小規模企業の振興に関し、国との適切な役割分担を踏まえて、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

2 地方公共団体は、小規模企業が地域経済の活性化並びに地域住民の生活の向上及び交流の促進に資する事業活動を通じ自立的で個性豊かな地域社会の形成に貢献していることについて、地域住民の理解を深めるよう努めなければならない。

(小規模企業者の努力等)

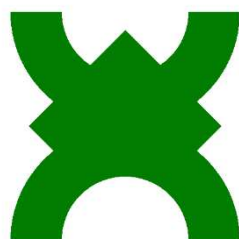
第八条 小規模企業者は、経済社会情勢の変化に即応してその事業の持続的な発展を図るため、自主的にその円滑かつ着実な事業の運営を図るよう努めるとともに、相互に連携を図りながら協力することにより、自ら小規模企業の振興に取り組むよう努めるものとする。

2 中小企業に関する団体は、小規模企業者に対してその事業活動を行うに当たっては、基本原則にのっとり、小規模企業者とともに、小規模企業の振興に主体的に取り組むよう努めるものとする。

3 小規模企業者以外の者であって、その事業に関し小規模企業と関係があるものは、国及び地方公共団体が行う小規模企業の振興に関する施策の実施について協力するようしなければならない。

(関係者相互の連携及び協力)

第九条 国、地方公共団体、独立行政法人中小企業基盤整備機構、中小企業に関する団体その他の関係者は、基本原則にのっとり、小規模企業の振興に関する施策があまねく全国において効果的かつ効率的に実施されるよう、適切な役割分担を行うとともに、相互に連携を図りながら協力するよう努めなければならない。



生駒市商工観光ビジョン

令和5年9月

生駒市 地域活力創生部 商工観光課